

【説明資料】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的、利用方法、作品自体やその製作過程で工夫したことを、文章、写真、図などで説明。この用紙1枚に記入し、PDFファイルに変換した後、ホームページに貼り付けてください。

学校名	岐阜大学	個人・グループ名	チームあんどん	作品名	LED すたんどライト
-----	------	----------	---------	-----	-------------

動機と目的

近年、ゲーム・スマホ利用の低年齢化により、**ものづくりをする楽しさや達成感**を味わうことのできる機会が減ってきている。

ものづくりの楽しさを味わうのと同時に、道具を使う必要性や安全性、美しいものをつくるために時間をかけてつくる面白さを子どもに知ってもらいたいと考え、ものづくり体験教室を企画した。

大事にしたい2つの観点

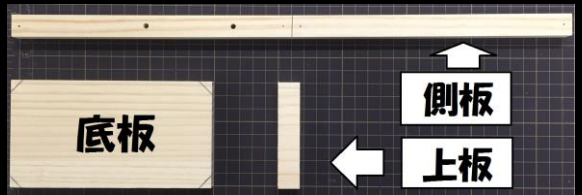
家で長く使ってもらえる上質感あふれるもの



小学校中学年が作ることのできるもの



スイッチと可変抵抗が上にくるようにしよう



工夫点

「シェードからの温かい光を生み出すポイント」
 ・100円ショップ等で購入可能な「リメイクシート」
 ・丈夫さを増すための「クリアファイル」
 ・光を分散させるために「はな紙」を使用

- ・可変抵抗を用いた**明るさ調整が可能**である。
→好みの明るさに調整でき、使う場面状況を選ばない。
- ・机・ベットの上的における**丁度良いサイズ・デザイン**。
寸法(mm) : W=150, D=105, H=210

工夫点

- ・小学生の集中力を考慮。
→作業を細かく分け、**約3時間**で製作可能にした。
- ・小学生にははんだ付けが難しい。
→**基板を工夫**することで、難易度を下げた。
- ・のこぎりを使わせてあげたい。
→**パイン材**を使用・**切断距離を短く**した。
- ・1日を通して**1つでも多くの製作体験を**。
→のこぎり、はんだ付け、くぎ打ち、ねじ締め、やすりがけ、ふきぬり...

実践結果

平成 28 年度岐阜大学教育学部フレンドシップ事業
 「こどものためのものづくり教室 2016」
 ○岐阜大学にて小学生対象の
 ものづくり体験教室を開催した。
 対象：小学校 3,4 年生向け内容 小学生 20 名
 作業時間：10:00～15:00 (昼食休憩込み)
 URL : <http://tech.ed.gifu-u.ac.jp/~friends/>



参加者全員から高い満足度を得ることができた。